



宝満山での風景

第6章 基本理念

第6章 基本理念

本史跡は、多くの人々の思いにより長い間大切に守られ、人々と共存しながら存在してきたものである。山岳信仰関連の古代から近世までの遺跡が良好に残る本史跡の本質的価値を守ることが基本理念の柱となる。山岳信仰が古代から現在までを生きている信仰の山を、山岳及び里山の価値を維持しつつ、将来にわたり守り伝えていくために、地権者、地元住民、山に関わる人々、関係機関等と史跡の価値を共有することで、長期にわたり史跡の保存活用に取り組んでいくことが求められている。

保存管理、調査・研究、活用、整備、運営・体制の整備の5つを連動させて史跡の保存活用を進めることで、史跡宝満山を心地よい空間として維持向上させていくことを基本理念とする。

山岳信仰と自然の山、史跡宝満山が感じられる心地よい空間の維持向上



図 6-1 基本理念